

学校法人岩田学園 寄付金募集趣意書

学校法人岩田学園 岩田中学校・高等学校 は、明治33年（1900年）岩田英子先生が荷揚町に「大分裁縫伝習所」を創立したことから始まりました。その後、昭和59年3月に女子校としての幕を閉じるまでの間、約四万人の卒業生を輩出し、県下女子教育の一助として学園の使命を果たしてまいりました。

昭和50年に故岩田英二が理事長に就任し、時代のもとめる「教育」と「私学の役割」を考え『学校の組み替え』にとりかかりました。その結果、「学びたいものが広く集まる学校」であり、「自学自習」を基本とし、「個性を尊重し、自分で考え、自分のことばで語れる、創造力豊かな人間の育成」をめざし、昭和58年に県下初である中高一貫6年制男子校として「岩田中学校・高等学校」を開校いたしました。

1回生はわずか25名からのスタートでしたが、学園の建学精神にご賛同いただいた多くの皆様方のご支援、ご協力により、22回生まで2,281名（平成22年3月）の卒業生を送り出しております。この間、平成13年度（2000年）には創立100周年を迎え、翌年からは男女共学へと移行していきました。

「社会に有為な人材の育成」の基本方針のもと、多くの卒業生が、医療・法曹・IT・金融・建設・教育・サービス業等々と多岐にわたり活躍しております。特に医療分野では、今後、大分県内の医療の一翼を担ってくれるものと各方面から大きな期待が寄せられています。今後も学力だけではなく、「公正や正義」「人を思いやる心」を持ち、自主的で行動力のある人材を育てて参る所存です。

当学園は、大分市中心部を流れる大分川の河畔にあり、周囲を豊かなクスノキの樹林に囲まれ、校舎・生徒寮などは世界的に著名な建築家である磯崎新氏の設計によるものです。このような教育環境は、生徒の情操・感性に何らかのメッセージを与えていると考えております。この教育環境を生かし更に発展・充実させるためには、理科実験室の整備や実験用機器、図書館の蔵書、教科指導図書、芸術科・体育科・家庭科の備品等の整備充実は欠かせないものです。寄付金の使途といたしましては、生徒が毎日を過ごす学校の教育環境整備費及び学力定着・向上のための教育研究経費といたします。

寄付金の使途

- (1) 教育研究用の施設設備の整備及び取得費
- (2) 教育研究に要する経常経費

生徒のみなさんには、充実した教育環境の中で、それぞれの未来に向けて学校生活を送って欲しいと願っております。

何卒、学園の寄付金募集趣旨をご理解いただきまして、ご支援ご協力をいただけますようお願い申し上げます。